

平成29年度 滝川市教育委員会の活動状況に関する点検・評価報告書



滝川市いじめ根絶シンボルマーク最優秀作品

平成30年8月

滝川市教育委員会

はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律により、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、その報告書を議会に提出するとともに、公表することが義務付けられています。また、その際、客観性を確保する観点から、教育委員会以外の学識経験者による知見の活用を図ることとされています。

滝川市教育委員会は、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民の皆様への説明責任を果たすため、学識経験者、保護者、関係団体から成る「滝川市教育委員会の権限に属する事務の外部評価会議」からご意見等をいただきながら、「滝川市教育推進計画」及び「平成29年度教育行政執行方針」をはじめ、平成29年度において教育部の重点事業として実施した9事業に係る事務の管理・執行状況について点検・評価を行い、報告書を作成いたしました。

この点検・評価報告書を通じて施策の効果の検証と改善を図りながら、教育施策を着実に推進していきたいと考えていますので、皆様の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成30年8月

滝川市教育委員会

目 次

1 教育委員会の活動状況について

(1)教育委員会の会議の開催状況	1
(2)条例・規則等の制定、計画等の策定状況について	4

2 教育委員会に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価報告書について

(1)点検・評価の方法について	5
(2)点検・評価の流れについて	5
(3)点検・評価対象事業について	5
平成 29 年度点検・評価対象事業一覧	6
(4)点検・評価に関する報告書	
I -(1)-② 子どもの英語力向上事業	7
I -(2)-② いじめ根絶に向けた取組	8
II -(5)-① 小・中学校適正配置計画	9
II -(5)-① 小・中学校施設整備方針の策定	10
II -(6)-③④ 英語教育・専門教育の充実	11
IV -(9)-① 児童・生徒の情報モラル対策	12
V -(12)-① 石狩川河川敷パークゴルフ場の運営管理	13
V -(13)-④ 市民学芸員の育成	14
V -(14)-② 図書館を使った調べる学習コンクール	15

1 教育委員会の活動状況について

(1)教育委員会の会議の開催状況

滝川市教育委員会の会議は原則として公開で、毎月1回を基本として開催するほか、必要に応じて臨時会議を開催しています。また、滝川市教育委員会が所管する事項について調査及び研究を行うことにより様々な教育課題に対する活発な議論を行うため、滝川市教育委員協議会を設置しています。

①教育委員会会議

12回開催しました。

H29.04.28	報 告	①3月分児童生徒の教育相談等における状況報告について
	議 案	議案第1号 滝川市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則 議案第2号 滝川市立学校管理規則の一部を改正する規則 議案第3号 滝川市立学校職員服務規程の一部を改正する規程 議案第4号 滝川市スポーツセンター条例施行規則の一部を改正する規則 議案第5号 滝川市教育支援委員会議委員の委嘱について 議案第6号 滝川市社会教育委員の委嘱について 議案第7号 滝川市文化財保護審議会委員の委嘱について
	その他	①各所管の年間業務計画について ②運動会の日程について
H29.05.26	報 告	①教育部補正予算について ②4月分児童生徒の教育相談等における状況報告について ③一般財団法人滝川生涯学習振興会の経営状況について
	議 案	議案第1号 滝川市いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱について 議案第2号 滝川市いじめ防止専門委員会委員の委嘱について
H29.06.19	報 告	①5月分児童生徒の教育相談等における状況報告について ②社会教育施設の利用状況について
H29.07.25	報 告	①6月分児童生徒の教育相談等における状況報告について ②いじめの問題に関する児童生徒の実態把握に係る調査の概要と考察
	その他	①外国語指導助手の採用について
H29.08.18	報 告	①教育部補正予算について ②7月分児童生徒の教育相談等における状況報告について
	議 案	議案第1号 滝川市教育委員会の活動状況に関する点検・評価報告書について 議案第2号 平成30年度に使用する小学校用教科用図書に採択について 議案第3号 平成30年度に使用する中学校用教科用図書の採択について 議案第4号 平成30年度から使用する小学校用「特別の教科 道徳」の教科用図書の採択について 議案第5号 学校教育法附則第9条による平成30年度から小学校特別支援学級で使用する教科用図書の採択について 議案第6号 平成30年度に使用する高等学校用教科用図書の採択について

H29.09.26	報 告	①8月分児童生徒の教育相談等における状況報告について
	その他	①全国学力・学習状況調査の公表等について
H29.10.27	報 告	①9月分児童生徒の教育相談等における状況報告について ②学校職員の処分について
	議 案	議案第1号 損害賠償請求調停事件に係る市長からの事務の補助執行について
H29.11.21	報 告	①教育部補正予算について ②10月分児童生徒の教育相談等における状況報告について
	議 案	議案第1号 滝川市石狩川河川敷パークゴルフ場条例の一部を改正する条例 議案第2号 市議会定例会提出議案(民事調停について)に同意することについて
H29.12.22	報 告	①11月分児童生徒の教育相談等における状況報告について ②教育支援委員会議の概要について ③いじめの問題に関する児童生徒の実態把握に係る調査の概要と考察について ④議案の訂正について ⑤調停の成立について ⑥成人式の実施について
	議 案	議案第1号 学校職員の処分内申について
H30.01.26	報 告	①12月分児童生徒の教育相談等における状況報告について
	議 案	議案第1号 滝川市石狩川河川敷パークゴルフ場条例施行規則の一部を改正する規則
H30.02.20	報 告	①教育部補正予算について ②1月分児童生徒の教育相談等における状況報告について ③出願状況について ④平成30年度からの美術自然史館・こども科学館の運営について
	議 案	議案第1号 平成30年度教育行政執行方針について 議案第2号 平成30年度教育予算について 議案第3号 滝川市文化センター条例の一部を改正する条例 議案第4号 滝川市立高等学校教員等の定数、給与、勤務時間その他の勤務条件及び定年による退職等に関する条例の一部を改正する条例 議案第5号 学校職員の専従許可の有効期間の更新に係る内申について 議案第6号 学校職員の処分内申について
	その他	①卒業式について ②平成29年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果の公表について ③平成30年度滝川市校外生活のきまり
H30.03.28	報 告	①2月分児童生徒の教育相談等における状況報告について ②平成29年度卒業式における国旗・国歌の実施状況について ③平成29年度卒業生進路決定状況について
	議 案	議案第1号 滝川市立学校管理規則の一部を改正する規則 議案第2号 滝川市美術自然史館条例施行規則及び滝川市こども科学館条例施行規則の一部を改正する規則

		議案第3号 道費負担教職員の任免に係る内申について 議案第4号 滝川市立学校教員及び滝川市教育委員会事務局職員の任免について 議案第5号 学校職員の処分内申の取下げについて
	その他	①入学式について ②辞令交付式

②教育委員協議会

3回開催しました。

開 催 日	調 査 及 び 研 究 内 容
H29.07.25	・滝川市教育委員会の活動状況に関する点検・評価について
H30.01.26	・平成30年度予算要求の概要について
H30.02.20	・平成30年度教育行政執行方針について

(2) 条例・規則等の制定、計画等の策定状況について

平成29年度に制定又は改正された教育関係条例の数は4件、教育委員会規則の数は7件です。

(施行年月日がH29.04.02～H30.04.01のもの)

①教育関係条例等

題 名	施行年月日
滝川市石狩川河川敷パークゴルフ場条例の一部を改正する条例	H29.05.01
滝川市石狩川河川敷パークゴルフ場条例の一部を改正する条例	H30.04.01
滝川市文化センター条例の一部を改正する条例	H30.04.01
滝川市立高等学校教員等の定数、給与、勤務時間その他の勤務条件及び定年による退職等に関する条例の一部を改正する条例	H30.04.01

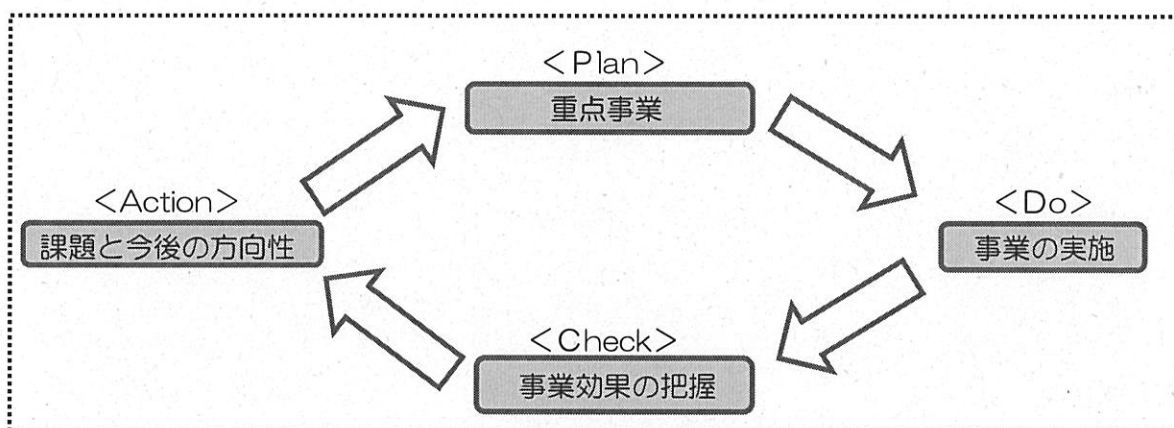
②教育委員会規則

題 名	施行年月日
滝川市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則	H29.04.28
滝川市立学校管理規則の一部を改正する規則	H29.04.28
滝川市スポーツセンター条例施行規則の一部を改正する規則	H29.04.28
滝川市石狩川河川敷パークゴルフ場条例施行規則	H29.05.01
滝川市美術自然史館条例施行規則及び滝川市こども科学館条例施行規則の一部を改正する規則	H30.03.28
滝川市石狩川河川敷パークゴルフ場条例施行規則の一部を改正する規則	H30.04.01
滝川市立学校管理規則の一部を改正する規則	H30.04.01

2 教育委員会に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価報告書について

(1) 点検・評価の方法について

- ①点検・結果のフィードバックについては、PDCAサイクルに基づき、平成29年度重点事業における目標と成果の確認を適切に実施し、来年度に向けた課題とその解決に向けての方向性を決定します。



- ② 3段階のランク付けにより、明確・簡潔な区分化を図ります。

ランク	内 容
A	期待どおりの成果があり、継続して事業を推進する
B	ほぼ期待どおりの成果があるが、事業の改善を図る必要がある
C	事業の見直しが必要

(2) 点検・評価の流れについて

①点検・評価シートの作成

教育委員会所管課において、点検・評価シートを作成し、実施事業に対する自己評価を行います。

②外部評価の実施

外部評価会議を開催し、点検・評価シートに基づくヒアリングを実施し、事業への取組内容の検証と自己評価へ客観的なご意見をいただき、外部評価としてランク付けをしていただきます。

③点検・評価の報告書作成

外部評価の決定後に点検・評価報告書案として、直近の教育委員会会議に付議し、承認を受けたのち、市議会の所管常任委員会（総務文教常任委員会）に報告書を提出します。

報告後、市のホームページに掲載し、報告書を公表します。

(3) 点検・評価対象事業について

平成24年度から「滝川市教育推進計画」に基づき点検・評価を行っており、平成29年度は、「滝川市教育推進計画」及び「平成29年度滝川市教育行政執行方針」をはじめ、平成29年度において教育部の重点事業として実施した9事業について点検・評価を実施しました。

※次頁の「平成29年度点検・評価対象事業一覧」参照

「平成29年度点検・評価対象事業一覧」

①	推進計画の重点施策	I. 知・徳・体のバランスのとれた生きる力を育む	教育総務課
	推進計画の事業名	(1) 確かな学力の育成	
	重点事業名	②外国語教育の充実	
	H29年度事業名等	子どもの英語力向上事業	
②	推進計画の重点施策	I. 知・徳・体のバランスのとれた生きる力を育む	教育総務課
	推進計画の事業名	(2) 豊かな人間性の育成	
	重点事業名	②心の教育推進事業の充実	
	H29年度事業名等	いじめ根絶に向けた取組	
③	推進計画の重点施策	II. 子どもの学びを支える教育環境を整える	教育総務課
	推進計画の事業名	(5) 安全安心な学校づくりの推進	
	重点事業名	①小・中学校改築等施設整備の推進	
	H29年度事業名等	小・中学校適正配置計画	
④	推進計画の重点施策	II. 子どもの学びを支える教育環境を整える	学校運営課
	推進計画の事業名	(5) 安全安心な学校づくりの推進	
	重点事業名	①小・中学校改築等施設整備の推進	
	H29年度事業名等	小・中学校施設整備方針の策定	
⑤	推進計画の重点施策	II. 子どもの学びを支える教育環境を整える	西高事務局
	推進計画の事業名	(6) 市立高等学校の充実	
	重点事業名	③英語教育・国際理解教育の推進、④専門教育の充実	
	H29年度事業名等	英語教育・専門教育の充実	
⑥	推進計画の重点施策	IV. 学校・家庭・地域の絆を深め、家庭や地域の教育力を生かす	社会教育課
	推進計画の事業名	(9) 子どもたちの健全育成の推進	
	重点事業名	①情報モラルの徹底	
	H29年度事業名等	児童・生徒の情報モラル対策	
⑦	推進計画の重点施策	V. 人が生き生き生きと活動できる生涯学習社会を支える	社会教育課
	推進計画の事業名	(12) スポーツに親しめる環境の整備	
	重点事業名	①スポーツ・レクリエーション活動の支援	
	H29年度事業名等	石狩川河川敷パークゴルフ場の運営管理	
⑧	推進計画の重点施策	V. 人が生き生き生きと活動できる生涯学習社会を支える	美術自然 史 館
	推進計画の事業名	(13) 地域の文化活動の振興	
	重点事業名	④人材の発掘・育成	
	H29年度事業名等	市民学芸員の育成	
⑨	推進計画の重点施策	V. 人が生き生き生きと活動できる生涯学習社会を支える	図書館
	推進計画の事業名	(14) 図書館活動の充実	
	重点事業名	②子どもの読書活動の推進	
	H29年度事業名等	図書館を使った調べる学習コンクール	

事務事業に関する点検・評価シート

対象年度	平成29年度	所管課名	教育総務課	所属長職氏名	課長 諏佐 孝
(事業等の目標 P l a n)	推進計画の重点施策	I. 知・徳・体のバランスの取れた生きる力を育む			
	推進計画の事業名	(1) 確かな学力の育成			
	重点事業名	③外国語教育の充実			
	平成29年度事業名等	子どもの英語力向上事業			
	事業等の目標	市内4校に整備した「英語ルーム」の環境整備を進め、英語ルームの活用充実を図るとともに、英語への興味関心を高め、コミュニケーション能力を伸ばす体験活動として「イングリッシュ・デイキャンプ」を実施する。 「英検3級以上相当の英語力を有していると思われる生徒数」を72名から100名にする。			
	前年度の課題 ※前年度点検・評価の課題記載				
29年度の取組み (D o)	取組内容	・ほぼすべての英語授業で英語ルームを活用した。(週に20時間程度) ・放課後に英語ルームで英語暗唱大会の練習や英語検定の面接に向けた練習を行った。 ・英語ルームに英語検定問題集を設置した。 ・英検IBAを実施した。 ・イングリッシュ・デイキャンプを実施した。(8月)			
取組結果・事業等の成果 (C h e c k)	取組の成果 (事業等による効果)	・英語の授業を「英語ルーム」で行い、ALTが授業に加わることで、より実践的な指導を行うことができた。 ・新たに英語検定問題集を設置したことにより、中学3年生が受験した英検IBAの結果では「英検3級以上相当の英語力を有していると思われる生徒数」が96名となり、前年度比24名増となった。 ・「イングリッシュ・デイキャンプ」には、延べ31名の小・中学生が参加し、事後アンケートでは、自らの英語力向上への意欲を問う質問項目において、肯定的回答が97%となった。			
	事業等の目標達成状況	・「英語ルーム」～英語授業での利用や、英語検定問題集の設置等による環境整備により、生徒の英語に対する学習意欲を高めることができた。 ・「イングリッシュ・デイキャンプ」～オールイングリッシュで行うアクティビティやALTとのふれあいによって、英語に親しみ、コミュニケーション能力の向上を図ることができた。 ・「英検3級以上相当の英語力を有していると思われる生徒数」は96名となり、ほぼ目標の100名に近づけることができた。 - よって、当初の目的を概ね達成できたと判断する。			
(今後の方針 A c t i o n)	以上のことから、自己評価を「A」とした。 ・今後は、現在の取組に加え、eラーニングなどの新たなシステムも導入することで、さらなる英語力の向上を図る。また、学習指導要領の改訂により、平成32年度に小学校英語の教科化が本格実施されるのに伴い、段階的な授業時数の確保と教職員の研修機会の確保に努める。				
点検評価委員会 コメント	・イングリッシュ・デイキャンプは、もっと参加してもらえるように実施方法や周知方法を工夫した方がよい。 ・現行の事業を継続するとともに、eラーニングでは大学との連携を図りながら成果を高めてほしい。			自己評価	点検・評価結果
				A	A

事務事業に関する点検・評価シート

対象年度	平成29年度	所管課名	教育総務課	所属長職氏名	課長 諏佐 孝
(事業等の目標) (P l a n)	推進計画の重点施策	I. 知・徳・体のバランスの取れた生きる力を育む			
	推進計画の事業名	(2)豊かな人間性の育成			
	重点事業名	②心の教育推進事業の充実			
	平成29年度事業名等	いじめ根絶に向けた取組			
	事業等の目標	市内の中学校区ごとに小・中が連携したいじめ根絶の取組を実施し、いじめを許さない学校づくりを進めるとともに、地域社会でいじめは決して許されないことを子どもたちに啓発するために関係機関が一体となった取組を推進する。 アンケートや教育相談などから、学校現場では、いじめにつながる小さな芽を見逃さず、迅速に対応することで、いじめの未然防止、早期発見に努める。			
	前年度の課題 ※前年度点検・評価の課題記載				
29年度の取組み (D o)	取組内容	・教育・いじめ相談24時間電話で相談事案に対応した。 ・学校から報告のあったいじめ等に関する事案に対応した。 ・いじめ相談カードを作成し小・中学校に配布した。 ・スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを積極的に活用した。 ・いじめ防止専門委員会、いじめ問題対策連絡協議会を開催した。 ・いじめアンケートを実施した。(6月・11月) ・「絆づくり成果交流会」を開催した。			
取組結果・事業等の成果 (C h e c k)	取組の成果 (事業等による効果)	・いじめ等に関する相談事案に迅速かつ慎重に対応した。 ・いじめ相談カードの配布により相談窓口の周知を図った。 ・いじめアンケートの実施やスクールカウンセラー等の積極的な活用により、潜在的ないじめの早期発見、早期解消に努めた。 ・いじめ防止専門委員会の開催により、いじめ事案への対処法について考察を深めた。 ・いじめ問題対策連絡協議会の開催により、市内各種団体が取り組むいじめ防止対策について相互理解を深めた。 ・絆づくり成果交流会では、小・中学校の児童と生徒が一体となっていじめ根絶に向けた運動に取り組んだ。			
	事業等の目標達成状況	・絆づくり成果交流会については、あいさつ運動、いじめ撲滅宣言、いじめ防止VTRの作成など、各校区のさまざまな取組を発表することで、小・中が一体となっていじめ根絶への思いを共有することができた。 ・「いじめはどんなことがあってもよくない」という意識を広げるための学校全体での取組が定着しつつある。 ・学校現場のきめ細やかな相談対応の結果、いじめ認知件数が減少し、重大事態に至ったケースはなかった。			
(今後の方針) (A c t i o n)	以上のことから、自己評価を「A」とした。 今後は、学校現場におけるいじめ未然防止・早期発見の取組を継続するとともに、平成30年度は、「滝川市いじめ防止基本方針」の改訂作業に向け取り組む。策定に当たり、いじめ防止専門委員会では、大学教授や臨床心理士等から専門的な見地からの意見、いじめ問題対策連絡協議会では、各種団体からいじめ防止に係る具体的なアドバイスをいただくほか、絆づくり成果交流会での子どもたちの意見も方針に取り入れるなど、関係機関が連携して内容の充実を図る。				
点検評価委員会 コメント	・絆づくり成果交流会はマンネリ化が感じられるので、中学校を持ち回り会場にして協議を子どもに聞かせるなど内容を工夫すべき。 ・現状の取組を適宜見直しながら取り組んでほしい。			自己評価	点検・評価結果
				A	A

事務事業に関する点検・評価シート

対象年度	平成29年度	所管課名	教育総務課	所属長職氏名	課長 諏佐 孝
(事業等の目標) (P l a n)	推進計画の重点施策	Ⅱ. 子どもの学びを支える教育環境を整える			
	推進計画の事業名	(5)安全安心な学校づくりの推進			
	重点事業名	②小・中学校改築等施設整備の推進			
	平成29年度事業名等	小・中学校適正配置計画			
	事業等の目標	学校の小規模が進む中、義務教育の機会均等や教育水準の維持向上が図られるよう十分な検討を進める。			
	前年度の課題 ※前年度点検・評価の課題記載				
29年度の取組み (D o)	取組内容	・江部乙地区で懇談会を開催した。 平成29年8月 江部乙商工会三役 平成29年10月 江部乙中同窓会役員 ・今後の方針について検討した。			
取組結果・事業等の成果 (C h e c k)	取組の成果 (事業等による効果)	・懇談会の開催で市教委の考えを説明すると同時に、江部乙地区の住民からさまざまな意見を伺った。 ・懇談会で出た意見等を踏まえ、これから小・中学校に入学する子どもを持つ保護者、懇談会に出席できない方からも広く意見を聴くため、江部乙地区におけるアンケートの実施について検討した。			
	事業等の目標達成状況	市教委の考えを周知し、地域住民の意見を聴くという面では、各種団体との懇談は、概ね順調に計画を推進していると判断する。			
(今後の方針) (A c t i o n)	懇談会を開催して住民理解を図った点については、概ね計画どおり遂行できたことから自己評価を「B」としたが、今後は、平成30年6月に実施したアンケート結果を7月中に集約・分析し、改めて適正配置の方向性について検討し、市長部局とも連携を図りながら、継続して江部乙中学校の統合を推進する。また、滝川第一小学校・開西中学校についても、地域懇談会を開催するなど統合の可否についての検討を進める。				
点検評価委員会 「メント」	・滝川市としての教育環境の将来像を具体的に示して説明することが必要。 ・通学や部活動に関わるのがどう保障されるのかなどを含め、ある程度長期的な展望を江部乙地区の保護者に示すことで不安を取り除くことができるのでは。			自己評価	点検・評価結果
				B	B

対象年度	平成29年度	所管課名	学校運営課	所属長職氏名	課長 杉山 敏彦
(事業等の目標) (Plan)	推進計画の重点施策	Ⅱ. 子どもの学びを支える教育環境を整える			
	推進計画の事業名	(5)安全安心な学校づくりの推進			
	重点事業名	①小・中学校改築等施設整備の推進			
	平成29年度事業名等	小・中学校施設整備方針の策定			
	事業等の目標	大規模改修等を計画的・効率的に実施するため、建築年次や老朽化、学校の適正配置計画などを考慮した「小・中学校施設整備方針」を策定するとともに、個別施設ごとの整備計画策定に向けた検討を進める。			
	前年度の課題 ※前年度点検・評価の課題記載	「学校給食施設整備計画」に基づく共同調理場整備の着手。			
29年度の取組み (Do)	取組内容	「小・中学校施設整備方針」の策定に向けた市長部局との協議検討を行った。			
取組結果・事業等の成果 (Check)	取組の成果 (事業等による効果)	平成21年に実施した耐震診断報告書を基に、市内小中学校10校の棟別コンクリート強度がおおむね13.5N/mm ² 以上の圧縮強度があり、すべての学校が長寿命化改修の対象であることを確認した。			
	事業等の目標達成状況	具体的な改修スケジュールや財源対策を示した「小・中学校施設整備方針」の策定には至らなかった。			
(今後の方針) (Action)	「小・中学校施設整備方針」の策定については、都市計画マスタープラン等の滝川市の各種計画との整合性が必須であり、まちづくり方針や公共施設全体の中での調整を図りながら、長寿命化改修のスケジュールや財源対策についての検討を今後も継続する必要があるため、自己評価をCとしている。 学校の改修スケジュールとあわせて、共同調理場の整備方針も見直すこととする。				
点検評価委員会 コメント	・適正配置計画と合わせた計画の策定が必要。 ・早急に計画化してほしい。			自己評価	点検・評価結果
				C	C

対象年度	平成29年度	所管課名	滝川西高等学校事務局	所属長職氏名	事務長 法村 幸子
(事業等の目標) (P l a n)	推進計画の重点施策	Ⅱ. 子どもの学びを支える教育環境を整える			
	推進計画の事業名	(6)市立高等学校の充実			
	重点事業名	①市立高等学校の将来ビジョンの策定			
	平成29年度事業名等	英語教育・専門教育の充実			
	事業等の目標	○英語教育では、異文化の理解を深めるとともに、国際的な教養を深める。 ○専門(商業)教育では、販売実習会体験等を通じて、営業・販売活動に必要な能力を育成する。西高の特色である普通科と商業科のそれぞれの良さを伸ばす取組を行う。			
	前年度の課題 ※前年度点検・評価の課題記載	-			
29年度の取組み (D o)	取組内容	○英語教育 ①昨年交換留学合意書を交わしたスウェーデン王国ヨーテボリ市ヴィトフェルスカ高校と第1回目の留学生の受入(6/25～7/9 教員1名、生徒4名)・派遣(12/3～12/13 教員1名、生徒2名)を行った。②SGHアソシエイト事業として、講演会「EUがあなたの学校にやってくる」を実施した。③交換留学を契機に、文科省の事業に採用された生徒が、ヴィトフェルスカ高校へ単身留学(1/7～23)し、インクルーシブ教育について学んだ。④アメリカ・ロングメドー高校へ短期留学(10/22～11/8 教員1名、生徒2名)を行った。 ○専門(商業)教育 ①情報ビジネス科の生徒が商品開発した、市内業者とのコラボ商品「ごっそりんごのプリン」の販売実習会を滝川市役所で3カ月にわたり行った。②会計ビジネス科の生徒が全国より厳選した特産物を仕入れ、商店街の空き店舗を活用して販売実習会を2回行った。			
取組結果・事業等の成果 (C h e c k)	取組の成果 (事業等による効果)	○英語教育 ①これまで馴染みの薄かったスウェーデン王国との関わりにより、生徒の北欧諸国への関心が高まり、相互理解が深まった。②EU加盟国大使による講演会でEUの歴史的背景を学ぶことで、グローバル的な視点が養われた。 ○専門(商業)教育 ①商品の企画・開発や取引に関する知識を学ぶことができた。②販売実習会を通して社会人としての礼儀、マナーを習得でき、キャリア教育として大きな成果が得られた。			
	事業等の目標達成状況	○英語教育 アメリカ・ロングメドー高校に加え、スウェーデン王国からの留学生を受け入れたことは、生徒の北欧諸国への関心を高めるのと同時に、異文化理解を深めるのにも有効だった。 ○専門(商業)教育 商品開発への参加や空き店舗等を利用した販売実習会は、就業体験として有益な取組となった。			
(A c t i o n) 今後の方針	英語教育・専門(商業)教育のどちらも当初の予定どおり完了し、成果が得られたため評価をAとした。英語教育のスウェーデン短期留学事業は初めての試みだったが、グローバル的思考を身につける上でも意義ある取組なので、留学生が普通授業に参加する機会を増やすなど生徒間の交流をさらに深めたい。また、専門(商業)教育の事業についても、オリジナル商品の開発や販売実習など実践的なキャリア教育として引き続き実施し、普通科・職業科併置校である西高の特色を生かせるよう努める。				
点検評価委員会 コメント	・国際人を育てるという教育方針をはっきりと示した上で、その一環として交換留学を行っているとした方がよい。 ・幅広く事業に取り組んでおり、成果が出ている。			自己評価	点検・評価結果
				A	A

対象年度	平成29年度	所管課名	社会教育課	記載者職氏名	課長 景由 隆寛
(事業等の目標) (Plan)	推進計画の重点施策	IV. 学校・家庭・地域の絆を深め、家庭や地域の教育力を生かす			
	推進計画の事業名	(9)子どもたちの健全育成の推進			
	重点事業名	①情報モラルの徹底			
	平成29年度事業名等	児童・生徒の情報モラル対策			
	事業等の目標	市内小学校からモデル校を選定し、授業を実施しながら、H30年度以降の道徳授業で活用できる参考教材を作成する。また、保護者向けの啓発リーフレットを作成し、学校、家庭の両面からの教育を支援する。			
	前年度の課題 ※前年度点検・評価の課題記載	-			
29年度の取組み (Do)	取組内容	・情報モラル教材を用いた授業の実施(小学校2校、中学校1校) ・情報モラル教材作成し、H30.2に全小中学校に配布 ・保護者向けリーフレット作成のための各関係機関へのインタビューの実施 ・保護者向けリーフレット作成し、H30.1の全中学校の入学説明会において新中学1年生の保護者に対して説明 ・市内携帯電話販売店の実態現地調査実施			
取組結果・事業等の成果 (Check)	取組の成果 (事業等による効果)	教材、リーフレットともに「作成」「配付・説明」を終えた段階。今後の継続が重要である。 情報モラル授業における児童・生徒の反応からは、授業の中で、みんなで考え、話し合うことで、自分事として捉え、意識の向上が見られるなど、その有効性を感じることができた。			
	事業等の目標達成状況	予定した取り組みについてはすべて予定通り実施した。			
(今後の方針) (Action)	29年度の予定事業についてはすべて予定通り完了し、期待通りの成果を上げたことからA評価とする。 いずれも今後の継続が必要なことから、30年度は次のように進める。 ・教材の活用について、滝川市道徳教育研究会議の協力の下、実際の道徳の授業において実践研究することで進める。 ・市内中学校の入学説明会における保護者向けリーフレットの配布・説明について継続する。 ・市内携帯電話販売店の実態現地調査を継続する。				
点検評価委員会 コメント	・学校に期待し過ぎる面があるのではない。家庭の教育力がないと改善されない。 ・家庭やPTAとの連携についても具体的な取組を期待する。			自己評価	点検・評価結果
				A	A

対象年度	平成29年度	所管課名	社会教育課	記載者職氏名	課長 景由 隆寛
(事業等の目標) (Plan)	推進計画の重点施策	Ⅴ. 人が生き生きと活動できる生涯学習社会を支える			
	推進計画の事業名	(12)スポーツに親しめる環境の整備			
	重点事業名	①スポーツ・レクリエーション活動の支援			
	平成29年度事業名等	石狩川河川敷パークゴルフ場の運営管理			
	事業等の目標	・5月仮オープン、7月正式オープンの予定で進める。 ・開設初年度として、PR活動を精力的に行い、施設を広く認知してもらう。 ・年間延べ28,060人の入場を目指す。			
	前年度の課題 ※前年度点検・評価の課題記載	・周辺施設の活用にもつながるように連携しつつ、集客できるようなイベント開催も検討する。			
29年度の取組み (Do)	取組内容	・5月10日仮オープン(4コース) ・7月1日正式オープン(8コース)、グランドオープン式典開催 ・7月30日滝川市長杯市民パークゴルフ大会開催(参加者87人) ・9月2日ミズノカップクラブ選手権北海道大会(参加者220人) ・ふれ愛の里との連携について協議			
取組結果・事業等の成果 (Check)	取組の成果 (事業等による効果)	・5/10～10/31までの開設期間で、総利用者数25,230人(うち市内17,880人、市外7,340人) ・利用者同士の交流や健康づくりの場として活発に活用された。 ・市外利用者が29.1%を占め、外客誘致にも寄与した。			
	事業等の目標達成状況	・予定した大会等については、予定どおり実施した。 ・利用者数は目標数値に達しなかった(△2,830人)が、札幌、旭川をはじめ市外からの利用も多く、コースの評判も概ね好評であった。 ・ふれ愛の里との連携は進捗がなかった。			
(今後の方針) (Action)	29年度については、パークゴルフ場において実施する計画であった大会等についてはすべて予定通り実施した。しかし、入場者数が目標数に達しなかったこと及び周辺施設との連携が進まなかったことから改善が必要であると判断し、B評価とした。 30年度においては、次の通り進める。 ・PR活動を継続して実施し、認知を広める。 ・ふれ愛の里など周辺施設との連携事業について検討・協議を進める。 ・効率的な運営手法として、指定管理者制度の導入について検討する。				
点検評価委員会 コメント	・利用者数は目標に届かなかったが、さまざまな大会を開催するなど、できることを率先して取り組んでいる点で所期の目的は達成している。	自己評価	点検・評価結果		
		B	A		

対象年度	平成29年度	所管課名	美術自然史館	記載者職氏名	館長 小山 淳
(事業等の目標 P l a n)	推進計画の重点施策	V. 人が生き生きと活動できる生涯学習社会を支える			
	推進計画の事業名	(13)地域の文化活動の振興			
	重点事業名	④人材の発掘・育成			
	平成29年度事業名等	市民学芸員の育成			
	事業等の目標	2年計画にてワークショップ、近隣美術館の視察、作品解説等、実践的なプログラムも交えながら各種講座を実施。受講終了後、希望者の中から館の学芸活動にボランティアとして参加する市民学芸員の登録を図る。			
	前年度の課題 ※前年度点検・評価の課題記載				
29年度の取組み (D o)	取組内容	【市民学芸員講座「英遠探検」の開催】 ・講座内容(6月～9月) ①岩橋英遠講座②岩橋英遠特別展講演会③ギャラリートーク参加 ④後藤純男美術館(上富良野町)視察⑤美術資料取扱講座 ⑥ティーパーティー(英遠芸術を自由に語っていただく懇談会) ・参加人数 18名			
取組結果・事業等の成果 (C h e c k)	取組の成果 (事業等による効果)	・受講者には市民学芸員育成のための基礎的な講座を受講していただくと同時に、通常の見学・鑑賞では体験できない部分にも接していただきながら、英遠芸術及び館の学芸活動等への理解を深めていただいた。			
	事業等の目標達成状況	・予定していた講座は実施できた。			
(今後の方針 A c t i o n)	29年度の講座については予定どおり実施できた。30年度も引き続き講座を開講するが、現状登録まで至っていないためB評価とする。 ・第2期講座として「英遠探検Ⅱ」を30年度も引き続き実施。 ・内容については29年度講座終了時に実施した参加者アンケートをもとに、より実務的なプログラムを展開し、美術館の運営についてさらに理解を深めていただきながら、第2期講座終了時、希望者を市民学芸員として登録する。 ・30年度は英遠芸術の振興を図るため、NPO法人岩橋ふるさと北辰振興会との連携を進める。				
点検評価委員会 コ メ ン ト	・学芸員は資格が必要なので、この講座を受講したら資格が取得できるという誤解がないよう名称を変更した方がよい。	自己評価	点検・評価結果		
		B	B		

対象年度	平成29年度	所管課名	図書館	記載者職氏名	館長 木村 純
(事業等の目標 P l a n)	推進計画の重点施策	V. 人が生き生きと活動できる生涯学習社会を支える			
	推進計画の事業名	(16)図書館活動の充実			
	重点事業名	②子ども読書活動の推進			
	平成29年度事業名等	図書館を使った調べる学習コンクール			
	事業等の目標	子ども達が自分の決めたテーマについて、調べまとめた作品を評価するもので、優秀作品を全国コンクールに推薦する。子どもたちの主体的に学ぶ意欲を喚起し、情報活用力の向上と、生涯を通じた学ぶ力の育成を図る。			
	前年度の課題 ※前年度点検・評価の課題記載	子ども読書活動の推進：学校をはじめ地域・幼稚園・保育所等との一層の連携強化が必要である。			
29年度の取組み (D o)	取組内容	・「図書館を活用した調べる学習コンクール」を小学校低・中・高学年の3部門で実施し、最優秀作品3点を全国コンクールへ推薦(全点佳作) ・「図書館を使った調べる学習体験講座」を川・空・エコの3コースで各施設等と連携して実施(川の科学館、海洋センター、スカイミュージアム、高校生ボランティア) ・応募112点全作品館内展示			
取組結果・事業等の成果 (C h e c k)	取組の成果 (事業等による効果)	・体験講座には3コースで延べ50名の参加があった。 ・昨年度の応募点数105点から112点に増加した。 ・内容についても、膨大なボリュームで調べまとめたものや、実験・フィールドワークを行いまとめたものなど、着実にレベルアップが図られた。			
	事業等の目標達成状況	・計画した事業については、すべて実施した。 ・質・量とも昨年度と比較して向上している。 ・体験講座については、市内体験関係施設と連携して実施した。			
(今後の方針 A c t i o n)	1年目と比較して、質・量ともに向上してきているため、A評価とした。 今後は継続して学習コンクールを実施していく中で、体験講座の実施や学校との連携、展示などの事業啓発などにより、引き続き作品の質的向上と応募点数の増加を図っていく。				
点検評価委員会 コ メ ン ト	・積極的に取り組んでおり、質及び量の向上も図られている。			自己評価	点検・評価結果
				A	A